

平成19年11月1日

南海電気鉄道株式会社

11月3日(土)開催の「南海電車まつり」で 新型車両「8000系」を披露します！

南海電鉄(社長 亘 信二)では、平成20年春頃をめどに、南海線で投入を予定している新型通勤車両「8000系」を、11月3日(土)に開催する「南海電車まつり」で披露します。

新型通勤車両「8000系」は「すべてのお客さまに快適な車両」を開発コンセプトに、現在南海線・高野線で運用している1000系をベースとしながら、さらに進化させた車両です。床面の高さを低くすることで、車両とホームとの段差を少なくしたほか、お一人当たりの座席スペースを拡幅するなど、バリアフリー化の一層の推進と快適性の向上を実現しています。

「南海電車まつり」で一足早く「8000系」をご覧ください。

詳細は別紙のとおりです。



新型車両「8000系」(イメージ)
(「南海電車まつり」では、塗装を施す前の状態をご覧ください)

《別 紙》

1. 車両形式

8 0 0 0 系

2. 編 成 数

4 両 × 2 編成 (8 両)

3. 運行路線

南海線 (南海本線、空港線、和歌山港線)

4. 営業運転開始

平成 2 0 年春頃 (予定)

5. 編成定員

5 8 8 人 (座席定員 2 0 4 人・立席定員 3 8 4 人)

6. 主な特徴：

デザイン

ステンレス製の車体に南海車両の伝統であるブルーとオレンジの帯を配色します。
バリアフリー化の推進

(1) お一人当たりの座席幅を 4 6 0 mm に拡幅し、ゆったりとお座りいただきます。

(2) 床面の高さを既存車両よりも 2 0 mm 低くし、1, 1 5 0 mm とすることで、ホームと車両の段差を少なくし、スムーズな乗降を実現します。

(3) 出入口部分の床面と扉部分を黄色にすることで目立たせるほか、優先席エリアについては、座席に青色、吊手には黄色を使用することで、一般座席付近の座席(茶色)や吊り手(白色)との違いを明確にします。

(4) 車両間の貫通路幅を既存車両より 1 7 0 mm 広げ 7 7 0 mm とすることで、車両間の移動を容易にします。

(5) 座席間に人間工学に基づいた曲線形状の握り棒を 1 4 本 (先頭車両は 1 2 本) 増設し、1 車両で最大 2 6 本設置することで、立ち座りを容易にするとともに、定員着席を促します。

7. 「南海電車まつり」について

(1) 日 時

平成 1 9 年 1 1 月 3 日 (土・祝) 午前 1 0 時 ~ 午後 4 時

(2) 場 所

南海電鉄千代田工場

【所在地】河内長野市原町 (高野線・千代田駅下車徒歩約 1 0 分)

(3) 参加費

無 料

(4) 参加要項

会場内、会場周辺には駐車スペースがないため、自動車での来場はご遠慮願います。

(5) 内 容

車掌体験

“ 車掌さん ” になった気分で、マイクを使った放送などが体験できます。

鉄道部品即売会

過去に使用していた懐中時計や円板、方向幕などを販売します。

工場見学

工場内にある、日ごろ見るできない電車の部品や解体車両を見学できます。

また、パンタグラフ操作や制御器操作などの体験イベントを実施します。

ラピート車内見学

空港特急「ラピート」の車内を見学できます。

8.備 考

- (1) 当日は塗色前の新型通勤車両「 8 0 0 0 系」2 両をご覧ください。
- (2) 車両内への立ち入りはできません。
- (3) 車両の展示場所は屋内（ピット内）です。

以上